

『うま馬』は創業70余年

〈 1960年頃 〉



屋台（五馬路）時代の
手嶋武臣（現会長）

博多ラーメン『^{さんまる}三馬路』の発祥

1940年（昭和15年）頃、博多区中洲の玉屋デパート（現ゲイツ）近くの博多川沿いで森堅太郎が屋台『三馬路』を開業。清湯（透き通ったスープ）の豚骨スープに平麺のラーメンを提供した。

『^{うまろ}五馬路』の誕生

戦時中、戦艦「霧島」の調理担当の任に就いていた森山勝は復員後まもなく『三馬路』のラーメンを食べ、「これだ！」と目を輝かせた。森山はすぐさま弟子入りを願い出て、新しい人生をラーメンに賭けようと決意。そして1951（昭和26年）頃、旧国鉄博多駅付近に屋台を開いて独立を果たすとき、師匠の森堅太郎から『五馬路』という屋号を命名してもらう。

〈 1970年頃 〉



当時の屋号は五馬路
（現 うま馬 祇園本店）

味の継承と『うま馬』の誕生

五馬路は繁盛し、その手伝いをするようになったのが義弟の手嶋武臣である。森山と同じように五馬路のラーメンを食べ、あまりのおいしさに「これは自分でもせないかん」とすぐに仕事を辞め弟子入りした。

1967（昭和42年）に手嶋は森から五馬路の屋号をもらい、博多区祇園町に店を構えた。のちに息子の雅彦（現社長）へと引き継がれ、1994年（平成6年）に「うま馬」へ屋号を変更。受け継がれてきた博多ラーメンの伝統を今も変わらず守り続けている。